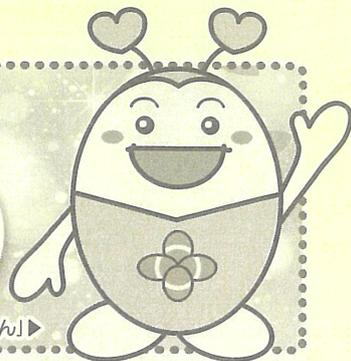


第76号 令和4年1月発行

ボランティアだより

大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター 愛称「ふくしのピロロちゃん」▶



第52回大分市社会福祉大会を開催しました



支え合って 共に生きる
みんなが主役のまちづくり

11月17日(水)に、大分市との共催によりJ:COMホルトホール大分にて『第52回大分市社会福祉大会』を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会規模を縮小し、74名の方が参加して式典が行われました。

表彰式では、久渡副市長及び江藤市社協会長があいさつを述べた後、社会福祉の発展に貢献された35団体・41個人の代表10名に表彰状及び感謝状を贈呈しました。また、被表彰者を代表して、西本徹男様が謝辞を述べられ、来賓を代表して、藤田敬治大分市議会議長に祝辞をいただき、最後に、荒金一義市社協副会長による大会宣言が満場一致で採択され、大会を成功裏に終えることが出来ました。



各表彰区分の代表受領者の方々



大会宣言

地域の様々な課題に対して、すべての住民が安心安全に暮らせる地域社会の実現を目指して、一丸となって取り組んでいく決意が新にされました。

地域の様々な課題に対して、すべての住民が安心安全に暮らせる地域社会の実現を目指して、一丸となって取り組んでいく決意が新にされました。



被表彰者代表謝辞

コロナ禍でのボランティア活動

ボランティア活動をお考えの皆様へお願いします

新型コロナウイルス感染者の減少傾向から一転して、オミクロン株の感染が急拡大しており、第6波の到来も懸念される状況になっていることから、活動には十分注意してください。

<ボランティア活動を行う上での注意事項>

- ・活動先の状況を確認し、相互に連絡し合って実施の可否を検討してください。
- ・自主活動の場合は、会員でよく話し合って活動の判断をしましょう。
- ・ボランティア活動を実施する場合は、マスクの着用、手指消毒、人との距離、3密の回避、換気、体調管理など、これまで以上に基本的対策に留意してください。

～ボランティアセンターでの取組～

ボランティアセンターでは感染防止対策に最大限配慮しつつ、一部変更しながら事業に取り組んでいます。今後変更になることもありますので、ホームページをご確認いただくかボランティアセンターまでお問い合わせください。

ボランティアの育成

●小中学校での福祉学習講座

実施時期や感染対策を学校と相談したうえで、児童生徒に手話や点字の学習、車いす体験や障がい者スポーツの体験などを通して、思いやりや助け合いの心を育む取組を行っています。10月から22校で実施しました。



手話体験学習

●施設ボランティア体験

福祉施設等82カ所の協力を得て、ボランティア活動が初めての方に体験活動の場を提供しています。コロナの影響で「夏のボランティア体験月間」は中止としましたが、現在は協力施設と連携しながら、体験事業を実施しています。

●技術習得のためのボランティア養成講座

点訳ボランティア養成講座及び朗読ボランティア養成講座を、ともに開始時期を遅らせて少人数で実施しています。



点訳ボランティア養成講座

ボランティア活動の支援

- 「ボランティア活動をしたい」「ボランティアに来てもらいたい」などの活動紹介では、希望者と受け入れ側の間でコロナ感染対策に注意して進めています。
- ボランティア登録時に、新型コロナウイルス感染症も補償対象に含まれたボランティア活動保険をご案内しています。
- 車いすの貸出、使用済み切手などの受付もしています。

第18回 大分県ボランティア・NPO推進大会が開催されました

令和3年11月29日に、会場とオンラインで県内の市町村社協のボランティアが参加して開催されました。

基調講演：「コロナは避けてもココロは密に～つながり愛でこれからの地域づくり」と題して、mottoひょうご事務局長 栗木剛氏のユーモアたっぷり！軽快な関西弁で各会場を笑顔いっぱいにしていただきました。（大分市から42名が参加）



J:COMホール大分にて

ボランティアグループの活動紹介

大分市ボランティアセンターには、様々な分野でボランティア活動をする団体や個人の方々が登録されています。

令和3年12月末現在の登録者数 297団体 8,645人、個人 441人

(大分市ボランティアセンターのホームページにグループ名簿が公開されています)

ボランティアサークル かなで



私たちは、ボランティアサークル『かなで』といいます。活動内容は人形劇、読み聞かせ、歌シアター、マジックなどで保育園、幼稚園、子育てサロン等に訪問ボランティアをさせていただいています。人形劇を作り上げるにあたって、「もったいない」という想いを大切にしています。

登場する人形はみんな一度は役目を終えた洋服や昔の着物、残り毛糸、ダンボール等から作られています。ただ捨ててしまうのではなく、解いたり縫い直したりして新しい姿に生まれ変わった人形たちが舞台でもう一度活躍します。

2014年から活動を続けてきた『かなで』ですがコロナ禍の中ボランティア活動もなかなか難しい状況です。今は読み聞かせグループとのコラボ、保育園へのペープサート提供や貸出などできることを模索しながら、子供たちの笑顔と出会うことを楽しみにSDGsな人形達と頑張っています。

代表 下村 美也子



大分電気サービスボランティアの会

この会は、平成14年4月に「企業組合大分電気サービス」(OES)の創立とほぼ同時期に「大分電気サービスボランティアの会」として立ち上げ、大分市に登録し活動を開始しました。いつもは、高齢者宅申し出の屋内配線の点検・修理や街路灯のLED化等工事の支援を行なっています。

平成29年7月の九州北部豪雨災害時には冠水住宅の屋内配線の点検と漏電調査を行ないました。津久見、臼杵、佐伯地区合計66人日、また日田地区では6人日の稼働でした。

また、九州電力(株)が平成18年から5ヶ年計画で実施した創立記念事業「九州ふるさとの森づくり」に、九州電力関連団体及びボランティアグループと共に植林活動に参加しました。この事業は九州全体で

100万本、大分県は10万本の植林計画でした。樹種はヤマモミジ、どんぐり他5種です。1回当たり500人規模の参加で、当グループは平均20人程度でした。

私達のグループは、全員が九州電力(株)の技術系OB(配電)で構成され、平均年齢73歳の高齢者集団ですが、若かりし頃取得した技術と能力を最大限に活かし、元気に活動をしています。

代表 矢川 政人
文責 事務局 原田 正己



令和4年度 ボランティア活動保険等加入受付のお知らせ



ボランティア活動保険等の加入受付を令和4年3月1日(火)から随時受付します。

- ・すでに登録されている団体・個人の皆様には、2月中に保険手続きの書類を送付予定です。
- ・新規登録も随時受付しています。

令和4年度 ボランティア活動保険【特定感染症重点プラン新設】のお知らせ

◆ 特定感染症重点プランを新設し、新型コロナウイルス感染症への補償を拡充します。

従来の補償プランでは、補償開始日から10日以内に発病した特定感染症については補償の対象となりませんでした(4月1日付で前年度から継続して加入する場合を除く)が、特定感染症重点プランでは補償開始日より特定感染症も補償の対象となります。



		基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(※)		初日から補償
賠償の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	×	○	○	
	年間保険料	350円	500円	550円	

※4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

◆ 特に、年度途中でボランティア活動保険に加入する場合にはお勧めです。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、**特定感染症重点プラン**に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行事用保険等の振込手数料についてお知らせ

ゆうちょ銀行からの払込時の料金が改定されることにより、**現金での払込時に手数料110円の料金が加算されます**ので、ご注意ください。

※ただし、ゆうちょ銀行の通帳またはキャッシュカードを利用して口座から支払う場合は料金に変更はありません。

改定日：令和4年1月17日(月)から

対象保険：ボランティア行事用保険・福祉サービス総合補償・送迎サービス補償

お知らせ

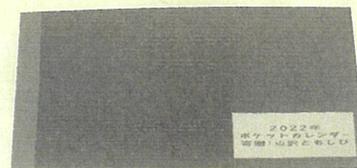
今年も寄贈していただきました



点訳ボランティア「点訳ともしび」の方から、お一人で手づくりされたポケット点字カレンダーを寄贈していただきました。

視覚障がいの方や関係機関の窓口にお届けいたしました。

多くの方々に感謝されています。ありがとうございました。



ボランティアだより 発行元・お問い合わせ

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホルトホール大分4階

TEL: (097) 547-7419 FAX: (097) 547-9559 E-mail: volun@oita-syakyo.jp

開所日時：月～土曜日 9時～18時 【ただし、第2・4月曜日(祝日の場合は翌日以降の平日)及び祝日、12月28日～1月3日は除く】